

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】「ルミパルス 25-OH ビタミンD」の基礎的性能評価

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院検査部

【研究責任者】谷口 裕美（検査部 主任臨床検査技師）

【研究の目的】

ビタミンD充足度の評価は、血清 25 水酸化ビタミンD濃度測定によるのみ可能です。本邦においても、血清 25 水酸化ビタミンD濃度によるビタミンD充足・不足・欠乏の判定基準が作成されました。ビタミンD欠乏性くる病・骨軟化症の診断には、血中の 25 水酸化ビタミンD濃度の評価が必須となっており、ビタミンD欠乏・不足では、骨折・転倒リスクの上昇に加え、続発性副甲状腺機能亢進症および骨粗鬆症治療薬に対する低反応の原因となることなど、様々な障害をきたすとされています。

本研究では、新規に保険収載された試薬「ルミパルス 25-OH ビタミンD」（富士レビオ株式会社）の基礎的性能評価を実施することにより 25-OH ビタミンDの臨床的評価および、臨床的に有用な測定試薬の判断ができ、今後の診療にも役立つことができると考えます。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2017年2月から2018年4月の間に当院検査部に25水酸化ビタミンD測定依頼（外注検査）および 1α -25水酸化ビタミンD測定依頼（外注検査）のあった検体の残血清を用い、「ルミパルス 25-OH ビタミンD」（富士レビオ株式会社）の基礎的性能評価を後方視的に実施し、患者さんのカルテ情報より、年齢、性別、基礎疾患、骨密度、骨・ミネラル関連項目などと、評価試薬測定値の関連性を確認します。

【共同研究について】

この研究は、富士レビオ株式会社と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、電子ファイルもしくは紙によって富士レビオ株式会社に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の試料・情報は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【試料・情報の管理責任者】

検査部 副臨床検査技師長 高須賀 康宣

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院検査部 主任臨床検査技師 谷口 裕美

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5598